

动词、副词、代词、形容词的用法3 PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/146/2021_2022__E5_8A_A8_E8_AF_8D_E3_80_81_E5_c105_146324.htm 形式名词

こともの
ところわけはずつもりためせいいうえうちかわりかぎり
とおりままほういっぽうかたわらほかたび 日语把体言中表示实质性概念的体言叫作实质体言，例如“花、本、机（つくえ）、人、犬（いぬ）”等；把表示形式性概念的体言叫作形式体言，例如“わたし、あなた、三、五”等。这是从词汇意义上划分的实质体言和形式体言，从语法上讲意义不大。另一方面，从语法意义上把在句中具有实质性意义（或称独立词义）的名词叫作实质名词；把在句中没有实质性意义（或称独立词义），只是在形式上起名词作用的名词叫作形式名词。例如：1. このへやにはいろいろなものがある。（ものは实质名词）2. 富士山に登ったことがある。（ことは形式名词）可见，语法上的形式名词与词汇意义上的形式体言是完全不同的两回事。但是，在我国的传统日语教学语法体系中，很多人把语法上的形式名词叫作“形式体言”。形式名词是从实质名词引申、演变来的。因此，同一个名词在不同情况下可以用作实质名词，也可以用作形式名词。例如：3. ことが起こってからではすぎる。（こと用作实质名词）4. 朝はに歉胜？ことがある。（こと用作形式名词）形式名词有以下特点：1. 不能单独使用，只能接在连体修饰语（主要是用言和部分助动词连体形，有时也有体言の的形式）的后面，表示连体修饰语所限定的意义、内容。形式名词离开了前面的连体修饰语，具体的意义、内容就无从谈起

了。2. 可以使用前面的用言具有体言的性质、资格，并且连同前面的用言一起后加助词、助动词等充当各种句子成分。

3. 可以表示某种附加意义。由于形式名词具有以上特点，翻译中需要灵活掌握。常用的形式名词有：こと、もの、ところ、わけ、はず、つもり、ため、せい、うえ、うち、かわり、かぎり、とおり、まま、ほう、いっぽう、かたわら、ほか、たび等。

二、こと 1、接在用言连体形后面，使前面的用言具有体言的性质，表示前面的用言所限定的意义、内容。例如：健康を害することが一番恐しい。 2、接在体言十の的后面，表示“与……有关的事物”。例如：仕事のことなどどうぞご心配なく。 3、接在用言连体形后面，表示在某种状态条件下。这种用法分为两种情况：一种示以词组ことには的的形式接在形容词、形容动词组连体形后面，在表示状态的同时有加强语气的作用。例如：悲しいことにはもうお金が全然ありません。 残念なことにはあんな弱いチームにけてしまった。 另一种是以词组こと（に）は的的形式接在动词、形容词连体形后面，在表示状态的同时，通过同语反复和与接续助词呼应，用缓和语气的作用。例如：行くことは行くが、いつ行くかまっていない。 近いことは近いが、交通が不便だ。 4、构成词组ことができる（できない），接在动词连体行后面，表示动作的可能与否。例如：あなたはを唠工毳长趣扞蓼工？ 人が大いて、ることができない。 5.构成词组ことがある（ない），接在动词过去时连体形后面，表示某一动作经验的有无。例如：君は外国へ行ったことがあるかい。 わたしはたこともいたこともありません。 6.构成词组ことがある（ない），接在动

词连体形后面，表示某种事实、情况的有无。例如：途中で下することがある。このごろはあまり行くことはありません。这种用法也有接在体言后面的例子。例如：すると、ときどきおし中のことがある。100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 www.100test.com